

## 吉祥寺あさひ病院 VA センターにおける医師研修についての考察—勤務形態による PTA 習熟度の比較検討—

○吉田 峻祐 (ヨシダ シュンスケ)<sup>1)2)</sup>、矢野 卓郎<sup>2)</sup>、本田 浩一<sup>1)</sup>、野口 智永<sup>2)</sup>  
昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門<sup>1)</sup>、吉祥寺あさひ病院 バスキュラーアクセスセンター<sup>2)</sup>

**【緒言】** 2023 年度の吉祥寺あさひ病院における VA 関連手術の 87%はシャント PTA であり、その 92%をエコー下に実施している。この環境下で 2020 年度から今日まで、ほぼ未経験の医師 3 名に 1 年間ずつ常勤医師として、また週 1 日勤務の 3 名に非常勤医師として VA 治療手技習得の研修を行った。先の医師 6 名のエコー下 PTA における研修習熟度を比較検討したので報告する。

**【対象】** 術者単独法によるエコー下 PTA 症例のうち、常勤医師 3 名が 4-9 月に実施した計 558 症例および非常勤医師 3 名が約 1 年間に実施した計 288 症例。

**【方法】** 常勤・非常勤医師の経験症例を前期群、後期群に分け 2 群間の症例背景や手術時間、一次開存率の比較検討を行った。

**【結果】** 常勤医師群は 3 名ともエコー下 PTA の手術時間が短縮していた。1 名の医師で後期群に開存率が低下した。非常勤医師群は手術時間、開存率とも有意差はなかった。

**【考察】** 症例経験数は各々異なっていたが、背景に有意差は少なく、研修結果に症例バイアスは少ないと考えられた。手術時間については常勤医師 3 人とも短縮しており、約 200 症例を経験することでエコー下 PTA の一定のスキルアップを見込めることが示唆された。

**【結語】** VA 手技研修をした医師の PTA の治療成績を報告した。